

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」小倉到津 校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		法令を遵守したスペースを確保しておりますが、イベント時等利用児が多い日もあるため、学習の場所、工作の場所、静かに過ごす場所など、過ごし方でスペースを区切っています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法定の人員に加え、2名の指導員を加配し、長期休暇時などは非常勤職員の増員も行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			対応しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			定期的に話し合いの機会を設け、より良い支援を検討している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に一度保護者アンケートを実施し改善につなげています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			定期的に事業所外の者に内部監査を受けています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			(財)発達支援研究所へ研修を依頼し、月に一度支援に関する職員研修を行っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			フェイスシート、アセスメントシートを活用しニーズの探り出しを行っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			全利用児へ統一したアセスメントを実施しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			利用児にとっての課題や支援の方向性等を話し合う支援会議を開いています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			少なくとも6ヶ月に1度は個別支援計画の振り返りを行い、利用児に合わせたプログラムとなるよう工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日や長期休暇の際は、普段できないような療育を行うよう心掛けています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の希望に沿いながら個別と集団を組み合わせた支援を提供しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			就業開始時に適宜打ち合わせを行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日の様子や変わったこと、周知しなければならないことの共有を行っています。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録は当日中に記入し、モニタリングの資料として活用しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			少なくとも6ヶ月に1度モニタリングを実施しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			ガイドラインに沿った活動を提供しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者か担当児童指導員が参加できるように調整しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			月間予定表の配布、新規利用児の情報共有など適切に実施しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケアを行う環境が整っていないため、医療的ケアが必要な利用者さんは現在いらっしゃいません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			関係機関との連携を図るよう心掛けています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	該当の利用児がいませんが、今後そのような状況であれば積極的な情報提供に努めます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			関係機関との連携を図るよう心掛けています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			近隣にあるきりり他校舎との合同イベントを通じて、他の児童との交流の機会を設けています。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		北九州市自立支援協議会にはこども部会がない為に参加していません。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日頃から送迎時や連絡帳などで、保護者と情報交換を行っています。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		定期的に保護者と面談する中で、お困りのことや相談があった際に、必要な助言を行っています。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に書面と口頭で説明を行っています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			行っています。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		現在、個別の相談・面談は行っておりますが、保護者会等は行っておりません。ご要望があれば検討していきます。し

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付窓口、担当者を設置、迅速かつ適切に対応できるよう努めています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			事業所の公式 LINE を使用して活動の様子を保護者へ発信しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付きのキャビネットに個人情報を保管しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			口頭のみでなく書面や LINE にて連絡できる体制を整えています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域住民の招待などは行っていません。児童それぞれの療育プログラムに沿い、可能な範囲で検討していきます。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを作成しており、訓練を定期的に行っています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年間計画を立て、月に1度防災訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			入社時研修、行政からの研修で虐待防止に関する意識向上を図っています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			重要事項説明書に身体拘束についての事項を明記し、必要に応じて個別支援計画への記載を行っています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アセスメント時にアレルギーについて慎重に聴取し、徹底しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			作成、共有しています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020 年 2 月 8 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」小倉到津 校

保護者等数（児童数）：20 回収数：15 割合：75%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○			法令を遵守したスペースを確保しており、お子様が安全に活動できるスペースの確保に努めておりますが、ご不安な点等ありましたら、鋭意対応させていただき所存ですので、遠慮なくご相談下さい。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	○			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	○			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		近隣にあるきらり他校舎との合同イベントを通じて、他の児童との交流の機会を設けています。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	○			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		○		個別の相談・面談は行っておりますが、保護者会等は行っておりません。ご要望があれば随時検討させていただきます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	○			翌月の予定確認表だけでなく、きらり小倉到津校 LINE のタイムラインにて行事案内を行っておりますので、是非ご登録ください。また、小倉到津校ホームページのブログにて活動の様子や自己評価結果を報告しておりますので併せてご利用下さい。
⑭	個人情報に十分注意しているか	○				

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	○		緊急時対応、防犯、感染症対応それぞれにおけるマニュアルを作成し、定期的な研修を実施しております。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○		毎月、避難訓練・防犯訓練を行っております。なお、緊急避難場所等は重要事項説明書にも明記しておりますので、必ずご確認頂きますようお願いいたします
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	○		今後もお子様楽しんで個別の支援・療育を行っていくよう更に研鑽に努めます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	○		お子様の支援、相談、外部との連携を今後も行い、きめ細やかな対応をさせていただきます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。